

④ A Software Environment for Research into Discourse  
Understanding Systems

R.Sugimura(ICOT,日本)

発表要旨

本論文では、談話理解システムの研究のためのソフトウェア環境について述べる。論理型プログラミングに基づく談話理解システムは、主に談話理解の基本的な機構とそれらの並列処理アルゴリズムに焦点をあて、1982年からICOTで開発されてきた。これらの研究結果を確かめるため、DUALS-I, DUALS-IIと呼ばれる実験システムが開発されている。これらを統合したのが、自然言語処理のための汎用ソフトウェア環境LTB(Language Tool Box)である。

LTBの特徴として

- ・自然言語理解の研究に対し、最新のlogic-basedシステムを提供する
- ・デバッガ、エディタなどを融合した総合環境を提供する
- ・すべてのツールはESPで記述されているため、高いmodularityと互換性を保っている。

があげられる。

本論文では、LTBの概要を述べ、今後の研究予定と開発方向について述べる。

質疑応答

質問：それぞれのモジュールのステップ数はどれくらいですか？

回答：およそ次の通りです。

LAX	10,000
SAX	12,000
生成module	5,000
CIL	17,000
total	60,000-70,000